

# 身を切る改革」継続実行中!!

2011年、東日本大震災発生時0歳だった赤ちゃんが無事にハタチ(20歳)を迎えるその日まで、子どもたちに寄り添い20年間継続的に支援を行う「ハタチ基金」へ、令和3年9月から令和4年8月までの、議員報酬削減額96万円を寄付。【6年で寄附総額744万円】

また、本来であれば和泉市民の皆様へ返納し、納税者の皆様へ行政サービスの充実を図ることが「身を切る改革」の本来の目的であることから、全額市費に返納可能な月額7万円支給される政務活動費の全額返納も継続中!【6年で返納総額498万4千円】「まずは、政治家自身が身を切る改革」の必要性を訴え、実行してまいります。



## 高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担額無償化のお知らせ

南半球にて、本年4月よりインフルエンザが大流行しており、国内においても今秋から冬にかけて流行が怒る可能性があります。そのため、例年1,000円の自己負担で実施している高齢者インフルエンザ予防接種について今年度の自己負担を無償化することを決定。

**期 間：令和4年10月1日～令和5年1月31日**

**対象者：①65歳以上の高齢者**

**②60歳以上65歳未満の者のうち心臓、腎臓、呼吸器の機能、又は、HIV感染による免疫機能に障害を有する者(身体障害1級)**

## 和泉市総合医療センターにおける選定療養費の改正

外来機能の明確化及び医療機関間の連携を推進するため、地域医療支援病院等における厚生労働大臣の定める選定医療費が増額されることに伴う措置として、令和4年10月1日より次のように改正されました。

新		旧	
選定療養費 (初診時)	(医科) 7,000円	選定療養費 (初診時)	(医科) 5,000円
	(歯科) 5,000円		(歯科) 3,000円
選定療養費 (再診時)	(医科) 3,000円	選定療養費 (再診時)	(医科) 2,500円
	(歯科) 1,900円		(歯科) 1,500円



大阪維新の会 和泉市議会議員

みつりの  
**いいさか光典**

ISHIN ZENSHIN

市政報告 Vol.22



## 監査制度の充実強化について

【令和4年第2回定例会 一般質問】

2年前の選挙で市民のみなさんとお約束した、行政のあるべき姿として「納税者の納得できるお金の使い方」について行政内部でのチェック体制である【監査】についての現状と課題、そして今後の監査体制の在り方について質問。

まず、監査の目的は、「行政運営について、健全性及び透明性を確保し、最小の経費で最大の効果を挙げるように努め、市民の福祉の増進と市政への信頼に資するもの」という答弁に対し、現状の監査体制で透明性を確保し、市民のみなさんや納税者のみなさんへの説明責任を十分に果たしているのかを質し、「多様化する市民ニーズに応えるため、組織及び運営の合理化に努める。」そのためには、監査事務局職員のレベルアップが必要であり、「知識の習得のため、民間ノウハウの活用を検討」との答弁。これに対し、「専門知識を持った外部人材の登用。専門知識が必要な分野における事業の民間委託を行い、そこから知識とスキルを習得し、レベルアップを図ること。また、ただただ分担金を負担するのではなく、広域連携としての「泉州都市監査委員協議会」の活用を提案。また、市民のみなさんに対する監査の透明性確保が、現状では不十分であるという観点から、監査結果報告書への記載内容の拡充を要望。同時に、市が補助金・交付金等の財政的援助を行っている団体・事業者への監査実施の必要性を訴え、市から「今後、監査制度の充実強化に鋭意努力する」という前向きな答弁を得、その結果、9月議会での監査報告において、いくらかの変化を観ることが出来ました。更に監査の透明性を高めると共に監査体制の充実強化へと尽力してまいります。



## 駅前での猛暑対策について **市民のみなさんの声をカタチに!**

【令和4年第2回定例会 一般質問】

和泉中央駅でのご挨拶の際、住民の方より頂いた声を市議会にて要望。公共交通利用者が多く集まる鉄道駅でバスやタクシー待ちの方が暑い中、長時間待たされる駅前における熱中症対策について質問。

行政として温度調査や快適度指数の調査は行っておらず、今後行う予定がないという姿勢に対し、机上の計算で現状把握はできず、現場へ足を運び自ら身をもって体感してこそ実態把握が可能となることから、泉北高速「和泉中央駅」・JR「和泉府中駅」の実態把握のための調査の必要性を指摘。同時に、財源面においても大阪府の「森林環境税」の用途として猛暑対策(1事業上限1,500万円までの満額補助が何力所でも可能)への補助金の活用によるドライミストの設置を提案、要望。担当部局からは、「ミストの冷却効果は理解するが、ランニングコストやミストにかかりたくない方もいることから十分な検証が必要」という回答に対し、本市環境基本計画の中に「暑さ対策の取組の推進」とあること。また、SDGsへの取り組みとして【人の体と環境にやさしい冷却方法】であり、同時にほとんど濡れることのないドライミストの設置を猛暑対策として要望。今後も、みなさんの声を市政へと反映してまいります。

## 使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収事業への取り組みについて

【令和4年第3回定例会 一般質問】

議会においても高評価を得、令和2年2月より実施している事業。当初の回収目標に達していないため、課題を明確にし、目標達成への方策を提案。まず、周知不足である点。そして何より回収手段であるボックスの設置が少なく、事業開始時から見直されていない点を指摘。広報、市LINEをはじめとした媒体を通じて周知を図ると共に、市内の高校、自衛隊、公共スポーツ施設や地域的な偏りがないように南部リージョンセンターへの設置についても施設管理者への設置を呼びかけ回収量を増やすように努めるとの答弁を得ました。

市の実施する事業は、一時の打ち上げで終わるのではなく、しっかりと進行管理を行い、目標を達成することが大切です。今回は、市が実施する事業に対するチェック機能を果たし、時代の潮流に合った新事業の展開も提案させていただきました。歩みを止めることなく前進してまいります。

## 光明池運転免許試験場に喫煙所設置

健康増進法により第一種施設に指定されている光明池運転免許試験場に喫煙所を設置。泉北高速鉄道「光明池駅」近隣一帯を路上喫煙禁止区域とし制限させていただきましたが、本施設近隣路上での喫煙行為に対する措置として喫煙所を設置。本来、第一種施設内では喫煙所の設置は不可能ですが、地元の要望として、森和臣府議会議員と共に設置を実現!近隣住民のみなさんに気持ちよく過ごしていただけるよう住環境の整備に取り組んでまいります。



## 本市の留守家庭児童会(仲良しクラブ)について

【令和4年第3回定例会 一般質問】

本市では、「子育てと仕事の両立支援体制の充実」を施策として謳い、留守家庭児童会の位置付けとして「安心・安全な放課後等の居場所づくり」に取り組んでおります。私自身、1期目にみなさんとお約束した、預かり時間の延長と希望されるすべての児童の受け入れを訴え、サービスの拡充を図ってまいりました。今回は、かんじんかなめの留守家庭児童会を継続運営するための課題と方策について質問。

運営の基盤となる「支援員」「補助支援員」の確保が困難となっている現状と、さらに、「誰も取り残さない」を前提としたインクルーシブ教育の観点から、配慮が必要な児童への対応としての人員の加配の必要性を訴え、課題克服には、民間活用が必要であり、その先には、民間のノウハウを活用した民間委託への移行が必要であると主張。それに対し、人材派遣・業務委託等の民間活用も含め検討するという前向きな、しかもこの分野での民間委託への言及は初めてとなる答弁を引き出すことが出来ました。引き続き、市民のみなさんとお約束を実現し、子育てしやすい街づくりを行ってまいります。

## (仮称)榎尾学園開校準備について

【令和4年第3回定例会 一般質問】

令和7年4月開校予定の(仮称)榎尾学園の開校へ向けた準備について質問。以前の一般質問にて、榎尾学園における教育内容及び公設民営学校の可能性について質問をしましたが、今回は、学びの中心となる子どもたちの安心・安全を第一に考える必要があるにも関わらず具体的内容を示すことなく一方的な提案がなされた通学手段について、地域、保護者のみなさんとの協議をしっかりと行い再考することを要望。学びの中心は子どもたちです。子どもたちのことを第一に考え、子どもたちが通いたい、そして、保護者のみなさんがお子さんを通わせたいと思っていただける学園とするための制度設計を求めてまいります。

## 交番・駐在所へのAED設置が実現!!

令和3年第1回定例会にて要望した、市内全ての交番・駐在所へのAEDの設置が実現!

行政の最も大切な仕事。それは、市民のみなさんの生命を護ることです。市内に、まんべんなく配置され、「いつでも」「誰でも」利用可能な施設として交番・駐在所にAEDを配置しました。

